



2023年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年2月9日

上場会社名 ゼット株式会社
コード番号 8135 URL <https://zett.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 渡辺 裕之

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理統括本部長 (氏名) 林 賢志

TEL 06-6779-1171

四半期報告書提出予定日 2023年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	36,690	10.6	672	140.2	876	45.2	507	10.2
2022年3月期第3四半期	33,177	22.6	279		603	656.0	460	

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 775百万円 (52.5%) 2022年3月期第3四半期 1,631百万円 (462.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	25.94	
2022年3月期第3四半期	23.55	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第3四半期	28,247	11,867	42.0	606.25
2022年3月期	25,309	11,189	44.2	571.65

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 11,867百万円 2022年3月期 11,189百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		0.00		5.00	5.00
2023年3月期		0.00			
2023年3月期(予想)				8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	48,000	7.2	800	62.6	1,000	12.9	700	3.2	35.76

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期3Q	20,102,000 株	2022年3月期	20,102,000 株
期末自己株式数	2023年3月期3Q	527,054 株	2022年3月期	527,054 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期3Q	19,574,946 株	2022年3月期3Q	19,574,946 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっては、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による影響が継続する中、行動制限が緩和され、経済活動は正常化が進み、景気は穏やかな持ち直しがみられました。しかしながら、世界的な資源・原材料価格の高騰等による物価の上昇が続いており、先行きは依然として不透明な状況であります。

このような状況の中で当社グループは、基本方針として「新しい価値の創造」「利益の創出と社会的使命の両立」「人材の戦略的活性化」「次世代DX卸ビジネスモデルへ向けて」を定め、特に具体的な施策として「構造改革の更なる前進」「ESG経営の推進」の2つを進めております。「構造改革の更なる前進」については、①収益性の向上 ②利益を伴った売上拡大 ③在庫・物流改革に取り組んでおり、「ESG経営の推進」については、①環境への対応 ②社会との調和 ③ガバナンスの強化に取り組んでおります。この方針及び施策のもとグループ各社一丸となり、企業価値向上並びに業績向上に努めました。

当第3四半期連結累計期間の売上高は36,690百万円(前年同期比10.6%増)、営業利益は672百万円(前年同期比140.2%増)、経常利益は876百万円(前年同期比45.2%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は507百万円(前年同期比10.2%増)となりました。

部門別の業績は、次のとおりであります。

（卸売部門）

卸売部門は、「アスレチックス」マーケットにおいては、学校部活動等が正常化、数多くの大会等イベントも再開され、特に屋内スポーツの活動回復により卓球用品は好調を維持し、テニス・バドミントン用品も好調でした。また、野球・ソフトボール用品は一部商品の価格改定前の駆け込み需要もあり堅調を維持しました。サッカー用品はFIFAワールドカップカタール2022において日本代表が強豪国に勝利する活躍もあり、堅調でした。「ライフスタイル」マーケットにおいては、スポーツカジュアルのアパレル用品は好調を維持し、アウトドア用品は購買行動の変化もあり落ち着きはありますが、引き続き堅調でした。「ボディケア」マーケットにおいては、外出機会の増加もあってウォーキングシューズが堅調でした。

この結果、売上高は35,278百万円（前年同期比10.6%増）となりました。

（製造部門）

製造部門は、野球・ソフトボール用品の「ゼットベースボール」は、オーダーグラブが引き続き堅調で、前期の納期遅延により販売機会がずれ込んだこともあって堅調でした。バスケットボール用品の「コンバース」は、競合他社との競争激化により苦戦しました。

この結果、売上高は197百万円（前年同期比9.5%増）となりました。

（小売部門）

小売部門は、品揃えを充実させ、店頭販売、ECサイトの専門性を高めたことにより、来店者、ECサイトへのアクセス数を増やすことができ、コロナ禍前の売上高まで回復し、堅調に推移しました。専門性が強化できたことにより利益率も改善させることができました。

この結果、売上高は464百万円（前年同期比9.6%増）となりました。

（その他部門）

スポーツ施設運営部門は、前年同期比では増収となりましたが、会員数はコロナ禍前の水準に回復せず、未だ厳しい状況が続いており苦戦しました。

物流部門は、外部受託業務の取扱い数量が増加したことにより堅調でした。

この結果、売上高は750百万円（前年同期比10.5%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における財政状態は、流動資産が22,060百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,631百万円増加いたしました。これは主に売掛金が1,401百万円減少したものの、現金及び預金が2,941百万円、商品及び製品が786百万円増加したことによるものであります。固定資産は6,187百万円となり、前連結会計年度末に比べ305百万円増加いたしました。これは主に投資有価証券が386百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は28,247百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,937百万円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は14,027百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,226百万円増加いたしました。これは主に電子記録債務が2,964百万円増加したことによるものであります。固定負債は2,352百万円となり、前連結会計年度末に比べ33百万円増加いたしました。これは主に長期借入金が115百万円減少したものの、繰延税金負債が137百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は16,380百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,260百万円増加いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は11,867百万円となり、前連結会計年度末に比べ677百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金が409百万円、その他有価証券評価差額金が264百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は42.0%（前連結会計年度末は44.2%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては2022年11月10日の「第2四半期業績予想値と実績値との差異及び通期連結業績予想の修正、並びに配当予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,172	8,114
受取手形	587	757
売掛金	8,177	6,776
電子記録債権	1,492	1,594
商品及び製品	3,329	4,115
仕掛品	59	69
原材料及び貯蔵品	150	205
返品資産	411	318
その他	167	220
貸倒引当金	△120	△112
流動資産合計	19,428	22,060
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,715	2,723
減価償却累計額	△2,122	△2,146
建物及び構築物 (純額)	592	576
土地	1,228	1,228
その他	846	843
減価償却累計額	△728	△728
その他 (純額)	118	115
有形固定資産合計	1,939	1,919
無形固定資産		
その他	158	133
無形固定資産合計	158	133
投資その他の資産		
投資有価証券	3,228	3,614
長期貸付金	11	9
敷金	221	221
その他	527	534
貸倒引当金	△204	△245
投資その他の資産合計	3,784	4,134
固定資産合計	5,881	6,187
資産合計	25,309	28,247

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,210	5,603
電子記録債務	3,712	6,677
短期借入金	206	172
未払法人税等	148	254
未払消費税等	124	52
賞与引当金	229	306
返金負債	482	373
その他	685	586
流動負債合計	11,801	14,027
固定負債		
長期借入金	325	210
繰延税金負債	655	793
退職給付に係る負債	334	350
長期未払金	11	11
その他	992	987
固定負債合計	2,318	2,352
負債合計	14,120	16,380
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,005	1,005
資本剰余金	2,968	2,968
利益剰余金	5,321	5,731
自己株式	△74	△74
株主資本合計	9,221	9,631
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,948	2,212
繰延ヘッジ損益	6	△9
為替換算調整勘定	26	42
退職給付に係る調整累計額	△13	△9
その他の包括利益累計額合計	1,968	2,235
純資産合計	11,189	11,867
負債純資産合計	25,309	28,247

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	33,177	36,690
売上原価	26,973	30,094
売上総利益	6,204	6,595
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	324	347
運賃及び荷造費	694	682
賃借料	207	214
役員報酬及び給料手当	2,343	2,310
貸倒引当金繰入額	195	35
賞与引当金繰入額	179	286
減価償却費	109	90
その他	1,869	1,957
販売費及び一般管理費合計	5,924	5,923
営業利益	279	672
営業外収益		
受取利息	1	0
受取配当金	16	38
受取賃貸料	7	7
業務受託料	4	6
助成金収入	281	142
その他	17	13
営業外収益合計	328	209
営業外費用		
支払利息	1	1
その他	2	3
営業外費用合計	4	5
経常利益	603	876
税金等調整前四半期純利益	603	876
法人税、住民税及び事業税	133	300
法人税等調整額	9	68
法人税等合計	142	368
四半期純利益	460	507
親会社株主に帰属する四半期純利益	460	507

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	460	507
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,155	264
繰延ヘッジ損益	2	△15
為替換算調整勘定	10	15
退職給付に係る調整額	3	3
その他の包括利益合計	1,170	267
四半期包括利益	1,631	775
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,631	775

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

当社グループは、スポーツ事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。